研修会報告

2025年6月27日

文責：宮城県立こども病院 検査部 須田 那津美

研修会テーマ「令和6年度宮臨技精度管理調査 微生物部門フォローアップとケーススタディー」

開催日時 2025年6月20日（金） 18:00～19:10

会場 Zoom ウェビナーを用いた Web 開催

司会 宮城県立こども病院 検査部 須田 那津美

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 25 名 入会申請中会員 0 名 非会員 0 名 賛助会員 0 名 学生 0 名
合計 25 名

講演 1 18:00～18:20

「令和6年度宮臨技精度管理調査微生物部門フォローアップ」

みやぎ県南中核病院感染制御室・細菌検査室 菊地 瑞香 技師

講演 2 18:20～18:40

「ケーススタディー症例 1」

東北医科薬科大学病院 検査部 甲谷 由香里 技師

講演 3 18:40～19:00

「ケーススタディー症例 2」

東北大学病院 診療技術部 臨床検査部門 木村 裕子 技師

内容

「令和6年度宮臨技精度管理調査 微生物部門フォローアップとケーススタディー」と題し、会員の基礎知識と症例への対応力向上を目的とした研修会を開催した。

講演 1 では、令和6年度宮臨技精度管理調査 微生物部門のフォローアップを行った。評価判定対象としてはいない追加検査に関しても、抗菌薬選択、治療に関わる臨床的に重要な項目があり、精度管理報告会より詳細な解説をする機会となった。講演 2 では、髄液から髄膜炎菌を検出した症例を提示した。髄膜炎菌は患者対応を行った医師、看護師、検体検査に関わった臨床検査技師が感染し発症するリスクがあるため、迅速な感染管理室との連携が重要になることなどについて情報共有を行った。講演 3 では、海外渡航歴がある患者のカルバペネマーゼ産生腸内細菌目細菌（CPE）の症例を提示した。ZOOM 投票機能を使用し各施設の CPE 検査方法を伺った。特殊な試薬を使用せず、感度・特異度高く CPE を検査できる mCIM 法の実施率についての現状は、参加者も参考になったと考える。

微生物部門として初めて平日の開催であった。当日行ったアンケートでは平日および週末の開催希望は半数程度であったが、今回、参加人数が少なめであったことを考慮し、今後の研修会企画、開催日を検討していきたい。